

厳しい寒さが続きます。突然の降雪や路面凍結にご注意を！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



目は見えていても気付いていないことも

この映像の訴求ポイントは…

- ◎こちらが見えていても、相手が気付いているとは限りません。
- ◎“コリジョンコース現象”を検索してみてください。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



バカヤロータクシー

この映像の訴求ポイントは…

- ◎前走車が教習車やタクシーの場合は車間距離を多めに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



一時不停止によるもらい事故

この映像の訴求ポイントは…

- ◎もらい事故は避けられませんが、被害を最小にはできます。
- ◎シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



おいおい

この映像の訴求ポイントは…

- ◎信号待ちなどでも、絶えず、ミラーなどで周辺確認しましょう。
- ◎発進時にチラッと左右のミラーを確認するのも有効です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



ハイビームの意味分かりますか？

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の隙間や末尾からは人や自転車が出てきます。
- ◎車列の通過時は徐行が鉄則です。夜間はハイビームも併用。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】“エコ運転”でおサイフにも社会にも優しい運転を

エコカーの普及で、一昔前に比べて燃費が格段に良くなっています。ハイブリッド車や自動アイドリングストップ機能の付いた軽自動車だと、カタログ上の燃費性能が1リッターあたり走行可能距離30km以上、街中での実燃費でも20km以上というコストパフォーマンスの良さです。ガソリン代の負担が軽くなり、家計にプラスになりますね。

とはいえ、燃費の基本性能が大幅に向上したエコカーといえども、エコな運転を行わないと、実際の燃費は下がってしまいます。

JAFも加盟しているエコドライブ推進協議会が提唱するエコ運転のポイント。下記の10箇条を心がけてみませんか？

1. ふんわりアクセル「eスタート」…発進時はギュッとアクセルを踏み込むのではなく、ふんわりやさしくアクセルを踏み込みます（最初の5秒で時速20km程度が目安）。

2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転…適切な車間距離で加減速が少なくなり、燃費も向上。事故の危険も下がります。

3. 減速時は早めにアクセルを離そう…アクセルペダルから足を離すとエンジンブレーキが作動し、燃費が向上します。

4. エアコンの使用は適切に…暖房のみ必要なときはエアコンスイッチをOFFに。冷やしすぎも禁物です。

5. ムダなアイドリングはやめましょう…昔は“暖機”が推奨されましたが、現在の乗用車は基本的にエンジンをかければすぐに出発して問題ありません。

6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう…最近はスマートフォンのアプリなどでも手軽に渋滞情報が取得できます。行き先やルート・出発時間を工夫して、エコでストレスのない運転を。

7. タイヤの空気圧から始める点検・整備…タイヤの空気圧不足は燃費の悪化とトラブルの元です。定期的にチェックしましょう。

8. 不要な荷物をおろそう…スキーキャリアなど、空気抵抗でも燃費は悪化します。冬が終わったら、スタッドレスタイヤの交換と一緒にスキーキャリアなども外しましょう。

9. 走行の妨げとなる駐車はやめましょう…迷惑駐車は渋滞や事故の原因にもなります。道路は皆で使うものですから、ルール・マナーを守りましょう。

10. 自分の燃費を把握しよう…日々の燃費を把握すると、自分のエコ運転の効果が実感できて、運転にも変化が出ます。

エコ運転を実施すると、余裕のある運転＝安全運転につながります。燃費の良い運転はおサイフだけでなく、人にも社会にも優しい運転なのです。

